

C 2009 4月5日

じゅうじか
十字架

なまえ
名前

1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

ルカ23・46

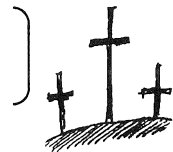
2. イエス様^{さま}が十字架におかかりになっていた昼の12時ごろ、あたりはどのようなようすでしたか。○をつけましょう。

- ①よく晴れていた ②雪がふってきた ③まっくらになった



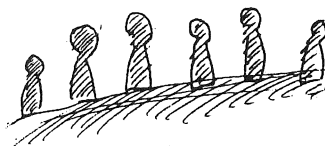
3. ローマの百卒長^{ひゃくそつちよう}はイエス様を見て、なんと言いましたか（47節）。

[



4. イエス様は何ひとつ罪^{つみ}をおかされませんでした。それでは、イエス様はだれの罪のために死なれたのでしょうか。○をつけましょう。

- ①弟子^{でし}たちのため
②ユダヤ人たちのため
③すべての人のため



5. イエス様の十字架の死と、あなたはどのような関係^{かんけい}があるでしょう。○をつけましょう。

- ①わたしには罪がないから関係ない
②わたしに罪はあるけれど、イエス様とは関係ない
③イエス様はわたしの罪のために死んでくださった



いの
お祈り



イエス様は、わたしの罪のためにも十字架で苦し^{くる}んでくださいました。ありがとうございます。わたしもイエス様を信じ^{しん}じます。アーメン。

C 2009 4月12日

ふっかつ
復活

なまえ
名前

1. み言葉^{ことば}を書いて覚え^{おぼ}ましょう。

ルカ24・6

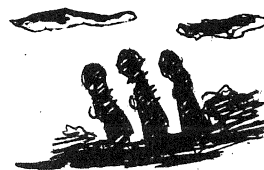
2. 今日のお話は、イエス様^{さま}が十字架^{じゅうじか}にかかってから3日目の朝のことでした。
その日は何曜日だったでしょう。○をつけましょう。

日・月・火・水・木・金・土



3. 朝早く、イエス様のお墓^{はか}にいったのはだれだったでしょう。当てはまる人
みんなを○でかこみましょう。

ポンテオ・ピラト 羊飼^{ひつじか}い マグダラのマリヤ
ヨハンナ(ヨハナ) 弟子^{でし}のトマス ヤコブの母マリヤ



4. 輝^{かがや}いた衣^{ころも}を着たふたりの人は、からっぽのお墓にあらわれて何と言いま
したか。○をつけましょう。

- ①イエス様のお墓はあっちです。まちがっていますよ。
- ②イエス様のからだは、ぬすまれました。さがしてください。
- ③イエス様はよみがえられました。もうお墓にはおられません。



5. 女の人たちはイエス様が3日目によみがえると言っておられたことを思い
出しました。この人たちはイエス様がよみがえられたことを信じ^{しん}じましたか。
あなたはイエス様がよみがえられたことを信じますか。○をつけましょう。

女の人たち・・・ 信じた・信じなかった・なやんだ
あなた・・・ 信じる・信じない・わからない



いの
お祈り



イエス様は十字架にかかって3日目によみがえられました。イエス様を信じ
れば、死もこわくありません。ありがとうございます。アーメン。

C 2009 4月19日

エマオにて

なまえ
名前

1. み言葉を書いて覚えましょう。

ルカ24・15

2. ふたりの弟子たちはなぜ悲しんでいたのでしょうか。

○をつけましょう。

- ①自分たちはよみがえられたイエス様と会えなかったから
- ②イエス様は十字架にかかれて死んでしまったから
- ③エマオがとなくて、つかれたから

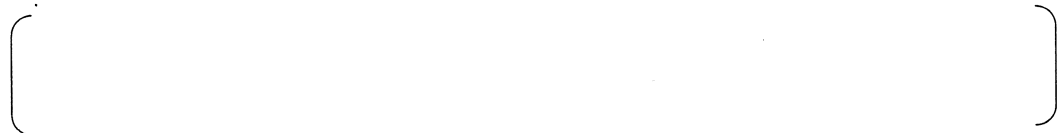


3. 弟子たちに近付いて来られたイエス様は、聖書のお話をなさいました。

弟子たちの心はどうになりましたか（32節）。



4. 弟子たちはその人がイエス様だと、いつわかりましたか（30,31節）。



5. イエス様がよみがえられたとわかった弟子たちは、どうなったのでしょうか。

○をつけましょう。

- ①イエス様が見えなくなったのでまた悲しくなった。
- ②がんばって旅をつづける力がわいてきた。
- ③うれしくなって、仲間たちに話すためにすぐにエルサレムに帰った。

☆ よみがえられたイエス様は、あなたといつまでもいっしょにいてくださいます。あなたの家族やお友だちにもイエス様のことを話してあげましょう。



イエス様、二人の弟子たちはよみがえられたイエス様と出会って、うれしくなりました。わたしもイエス様のことをみんなにお話しできるようにたすけてください。アーメン。

1. ことば 言葉 か を書いて覚えましょう。

ルカ24・39

2. イエス様 さま がとつぜん入ってこられたとき、弟子 でし たちはどうしましたか。

○をつけましょう。

- ① おどりがあってよろこんだ
- ② 人 ひと ちがいたと思って信じなかった
- ③ 霊 たま (亡霊) だと思ってこわがった



3. イエス様は本当によみがえられたことを証明 しょうめい するために、二つのことをなさいました。それは何だったでしょう。〔 〕に言葉を入れましょう。

〔 〕 や 〔 〕 を見せて、
さわって見なさいとおっしゃった。

〔 〕 を食べられた。

4. 弟子 でし たちが見たイエス様の手や足には何がありましたか。

〔 〕



5. イエス様がよみがえられたように、イエス様 しん を信じる人のからだもよみがえります。あなたは信じますか。○でかこみましょう。

信じる・信じられない・まだよくわからない



いのち
お祈り

イエス様は、たしかによみがえられました。弟子 でし たちが信じられたように、わたしにも、信じる しんこう 信仰をあたえてください。アーメン。

C 2009 5月3日

父の約束

なまえ
名前

1. み言葉を書いて覚えましょう。

ルカ24・49

2. イエス様は、十字架やよみがえりのことはどこに書いてあると、おっしゃいましたか。○をつけましょう。

- ① 社会の教科書
- ② 聖書
- ③ イエス様の伝記

3. 聖書を読んだり、教会でみ言葉を聞くとともに、わたしたちはどのようにしたらよいでしょうか。よいと思うものに○、悪いと思うものに×をつけましょう。

- () 面白かったテレビのことを思い出しながら。
- () 本当かなと、うたがいながら。
- () 素直な心でできこうとする。
- () 友だちをつつきながら。
- () 心を神様にむけて。



4. イエス様が贈ると約束してくださった約束のものとはだれのことでしょう。

[]



5. 聖霊はどんな力を与えてくださるでしょうか。

- ① けんかをしても負けない力。
- ② 決して罪をおかさない力。
- ③ イエス様のことを伝える力。



いのち
お祈り

イエス様、わたしにも聖霊をおくってください。イエス様のことを伝えられるようにしてください。アーメン。

C 2009 5月17日

しょうにん

証人への道

なまえ
名前

1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

使徒1・8

2. よみがえられたイエス様^{さま}は、今どこにおられますか。

○をつけましょう。

- ①外国の教会
- ②わたしたちの思い出の中
- ③天



3. イエス様は、ご自分が天にあげられたあとに、あることが起きるとおっしゃいました。それはなんでしょう。

[]



4. よみがえられたイエス様は、これから弟子たちがどうなるとおっしゃいましたか。○をつけましょう。

- ①人気者
- ②イエス様の証人^{しょうにん}
- ③りっぱな漁師^{りょうし}



5. あなたがイエス様の証人になるためには、何が必要でしょうか。

[]

☆よみがえられたイエス様は今も天で生きておられます。そしてまた来られます。あなたもイエス様の証人にしていただきます。

いの
お祈り



イエス様、わたしはイエス様と会えるのを楽しみにしています。わたしもイエス様のことを伝えられるように、聖霊^{せいれい}をあたえてください。アーメン。

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

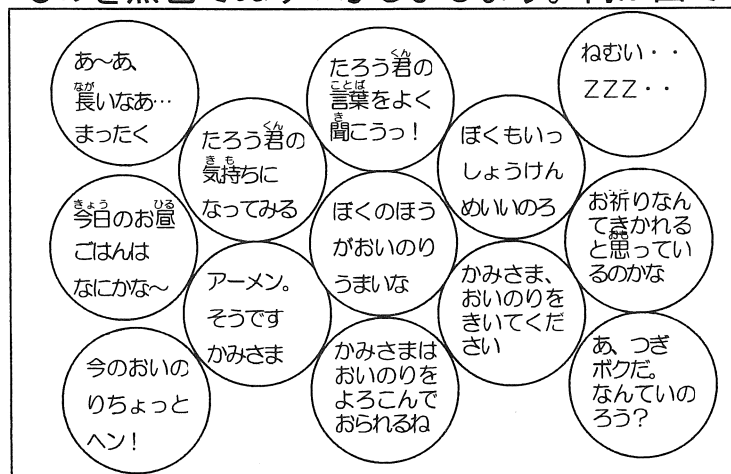
しと
使徒 1・14

2、今日のお話とちがう所に____を引き、正しい答を()の中に書きましょう。

- ① イエス様が天にのぼられた後、みんなはゲリジム山をおりて
エルサレムにある一軒の家の屋上に上がりました。()
- ② その人たちとは、十一弟子、女の人たち、イエス様のお母さん、そしてイエス様が
復活された後、イエス様を信じたパリサイ人たちでした。()
- ③ みんなは心を合わせて、一生懸命おしゃべりしました。()
こうして、みんなはイエス様が約束された聖霊を待ちつづけました。

3、たろう君がお祈りしている時、「心を合わせて」祈るとはどういう心でしょう？

あてはまらないものを黒色でぬりつぶしましょう。何が出てくるかな？



みんなの心が一つになるの
をじゃまするものは、

ちゅうしん

の心なのですね。それを
くたぐことができるのは
十字架のご愛だけ!

4、みなさんはどうしてもほしいものがある時、どうしますか？聖霊をいただくため
には、何をしたら良いのでしょうか？あてはまるものに○をつけましょう。

- () 大人に怒られるようなことを全部やめる。
- () 他のことを考えないで、ただ神様にさげぶ気持ちで聖霊をくださいと祈る。
- () お祈りより、まず自分で何かできることはないかと、お祈りをやめて何かをし始める。
- () 神様に喜ばれない言葉や思いや行動を思い出したら、告白して悔い改める。

③ 神様、私たちが一つの心になって、

ひたすら聖霊を求めることができますように
心をきよめてください。イエス様のお名前
によってお祈りします。アーメン。

★ 聖霊をうけるために私たちが
できるじゅんびは、
祈ることです。

1、今日の^{ことば}み言葉を^{おぼ}書いて覚えましょう。

しと
使徒2・4

2、今日は何の日でしょう？使徒1・13と1・26に出てくる使徒たちの^{しと}名前から、
下の□にあてはまる^{もじ}文字を入れましょう。よこにならんだ^{ことば}言葉が今日の日の^{なまえ}名前です。

	シ	ア		ト	マ
	モ	ン	ヤ	マ	ツ
□	□	□	□	□	□
テ		レ	ブ		ヤ
□					

3、今日のお^{はなし}話を思い出してあてはまる^{ことば}言葉を下の□からえらびましょう。

- ① 五旬節の日。□が^{あつ}集まっていると、とつぜん□の^{おと}ような音がしました。
- ② 舌の^{した}ようなものが□の^わように分かれて□の上にとまりました。
- ③ すると、みんなは^{せいれい}聖霊にみだされて、□の^{くに}国の^{ことば}言葉を^{はな}話しはじめました。
- ④ □の^{くに}国からエルサレムに^{あつ}集まっていた人々が^{ひとびと}おどろいて、「どうして^{くに}ぼくの国の^{ことば}言葉を^{はな}話しているのだろう？」と□に^{ふしぎ}がりました。

この日に、イエス様の^{さま}体である^{からだ}教会が^{きょうかい}生まれ、世界中に^う福音が^{せかいじゅう}広がって^{ふくいん}いきました。

ア) みんな イ) ひとりひとり ウ) 炎 エ) いろいろ オ) 風 カ) おたがい

4、「聖霊にみだされる」とはどういうことでしょうか？あてはまると^{おも}思うものに○をつけましょう。

- () とつぜん、^{あたま}頭がよくなったり、スーパーマンみたいに^{つよ}強くなる。
- () イエス様をみんなに^{つた}伝える^{ゆうき}勇氣と^{あい}愛と^{よろこ}喜びにあふれてくる。
- () とにかく^{わら}こうふんして、^な笑ったり、^な泣いたりする。病^{びょうき}氣もいっぺんになおる。
- () 神様を^{かみさま}愛する^{あい}愛にみだされて、人を^{あい}愛し、神様の^{かみさま}喜ばれないものが^{よろこ}きらいになる。

③

神様、わたしたちが^{せいれい}聖霊にみだされて、たがいに^{あい}愛し、まわりの人を^{あい}愛する^{あい}愛にみだしてください。
イエス様のお^{さま}名前によって^{いの}お祈りします。

アーメン。

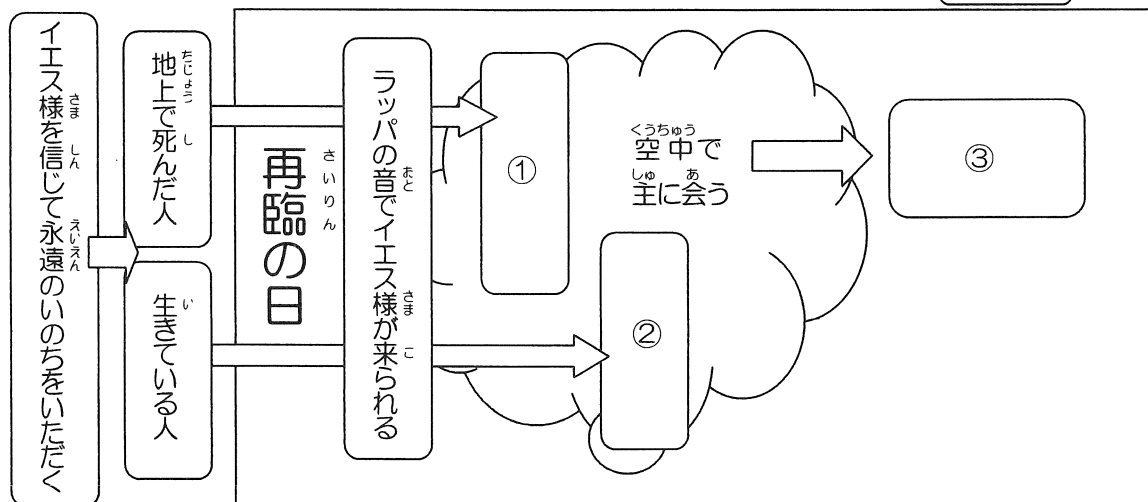
★ 教会は、^{きょうかい}聖霊が^{せいれい}みちている
イエス様の^{さま}体です。お^{たが}互いへの^{あい}愛、まだ神様を^{かみさま}知らない人への^{あい}愛
があふれるイエス様の^{さま}体です。

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

I テサロニケ4・17

2、今日の聖書の手紙が送られたテサロニケの人々は、あることで泣いていたようです。
何が悲しくて泣いていたのでしょうか。あてはまると思うものに○をつけましょう。

- () 「パウロ先生が死んじゃった！ワ～ン！（泣）」
- () 「再臨なんて、イエス様がもう一度来られるなんてウソだったんだ！（涙）」
- () 「イエス様がもう一度来られたとしても、死んだ人には関係ないでしょ！
イエス様信じていたおばあちゃんはどうなるの？！（大泣き）」

3、このテサロニケの人々にパウロ先生が「再臨（もう一度イエス様が来られる時）」
について教えました。下の文章からえらんであてはまる に入れましょう。

- ア) 生きたまま栄化する（ふっかつのからだになること） イ) 最初によみがえる
- ウ) いつまでも主とともにいる

イエス様を信じる人はイエス様にお会いする再臨の時、すでに死んでいた人とも、
生きている人も、お互いに会うことができます。このことを信じますか？

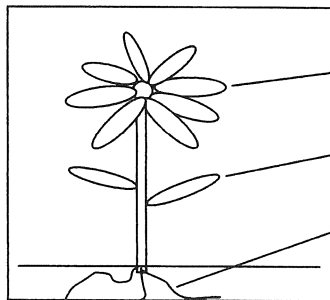
- ③ かみさま 神様、イエス様を信じるなら、死んでも、イエス様を
信じる人とまた会うことができることを感謝します。
この福音を一人でも多くの人に伝えることができます
ように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ イエス様を信じる
人にとって、死は
終わりではない
のです！

1、今日の^{きょう}み^{ことば}言葉^かを書いて^{おぼ}覚え^{おぼ}ましょう。

マタイ6・28

2、今日は^{はな}花の日。花を^{はな}よく^{かくぶぶん}見て^{なまえ}みましょう。各部分の名前を書きましょう。



①

②

③

花をつくられたのはどなたですか？

→ _____

私たち人間をつくられたおかたは？

→ _____

3、花のように、「^{おも}思い^{はな}わ^{おも}ず^{こころ}ら^{こころ}わ^{こころ}ない」心とはどんな心でしょう？○をつけましょう。

() 「もう何もしなくていいや。^{かみさま}神様が^た食べ^なさせてくれるしー」

() 「あー、でもやっぱり、この^{ふく}服^{ふく}ヘンかな。もうどうしよー！」

() 「^{かみさま}神様は^{わたし}わたしに^{いちばん}一番よく^{あた}してく^{あた}ださる。だから、^{あた}与え^{あた}られていることをやります！」

4、^{おも}思い^{おも}わ^{びょう}ず^{くすり}らい^{もと}病^{もと}に^{はな}き^{なまえ}く^{なまえ}薬^{なまえ}は^{なまえ}これ^{なまえ}↓を^{なまえ}求^{なまえ}める^{なまえ}こと^{なまえ}です。花の名前を^{なまえ}たて^{なまえ}・^{なまえ}よ^{なまえ}こ^{なまえ}に^{なまえ}さ^{なまえ}が^{なまえ}して^{なまえ}で^{なまえ}か^{なまえ}こ^{なまえ}み^{なまえ}ま^{なまえ}し^{なまえ}ょう。のこ^{なまえ}った^{なまえ}文^{なまえ}字^{なまえ}は^{なまえ}何^{なまえ}い^{なまえ}う^{なまえ}言^{なまえ}語^{なまえ}で^{なまえ}し^{なまえ}ょう？

チ	ユ	ー	リ	ッ	プ
ヒ	カ	ミ	ノ	ク	ニ
マ	タ	ン	ポ	ポ	ア
ワ	ト	ス	ミ	レ	ネ
リ	カ	ミ	ノ	ギ	モ
カ	ス	ミ	ソ	ウ	ネ

「^{かみ}神^{くに}の^{かみ}国^ぎと^{もと}神^{かみ}の^{だいいち}義^{かみ}を^{かみ}求^{かみ}める」とは、^{かみ}神^{かみ}様^{かみ}を^{かみ}第^{かみ}一^{かみ}に^{かみ}し^{かみ}、^{かみ}神^{かみ}様^{かみ}の^{かみ}み^{かみ}こ^{かみ}ろ^{かみ}に^{かみ}し^{かみ}た^{かみ}が^{かみ}っ^{かみ}て^{かみ}生^{かみ}き^{かみ}る^{かみ}こ^{かみ}と^{かみ}す。私^{わたし}たちは^{かみ}神^{かみ}様^{かみ}に^{かみ}愛^{あい}さ^{かみ}れ^{かみ}て^{かみ}い^{かみ}ま^{かみ}す。今日^{はな}は^{はな}花^{はな}の^{はな}日^{はな}、私^{わたし}たちも^{わたし}だ^{わたし}れ^{わたし}か^{わたし}に^{わたし}神^{かみ}様^{かみ}の^{かみ}愛^{あい}を^{かみ}と^{かみ}ど^{かみ}け^{かみ}ま^{かみ}し^{かみ}ょう。

③ ^{かみ}神^{かみ}様^{かみ}が^{かみ}愛^{あい}し^{かみ}て^{かみ}く^{かみ}だ^{かみ}さ^{かみ}つ^{かみ}た^{かみ}そ^{かみ}の^{かみ}ご^{かみ}愛^{あい}を^{かみ}、^{かみ}だ^{かみ}れ^{かみ}か^{かみ}に^{かみ}と^{かみ}ど^{かみ}け^{かみ}る^{かみ}こ^{かみ}と^{かみ}が^{かみ}で^{かみ}き^{かみ}ま^{かみ}す^{かみ}よ^{かみ}う^{かみ}に。

^{さま}イエ^{なまえ}ス^{なまえ}様^{なまえ}の^{なまえ}お^{なまえ}名^{なまえ}前^{なまえ}に^{なまえ}よ^{なまえ}つ^{なまえ}て^{なまえ}お^{なまえ}祈^{なまえ}り^{なまえ}し^{なまえ}ま^{なまえ}す。ア^{いの}ー^{いの}メ^{いの}ン。

★^{おも}思い^{おも}わ^{おも}ず^{おも}ら^{おも}わ^{おも}ない^{おも}で^{おも}神^{かみ}様^{かみ}の^{かみ}ご^{かみ}愛^{あい}を^{かみ}信^{かみ}じ^{かみ}、^{あい}愛^{あい}に^{あい}よ^{あい}つ^{あい}て^{あい}生^{あい}か^{あい}さ^{あい}れ^{あい}ま^{あい}し^{あい}ょう。

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

しんげん
箴言6・20

2、「父の戒め、母の教え」とは、神様のみ言葉を教える「命の道」です。「命の道」をさがしましょう。今日のみ言葉（口語訳「あなたの父の戒めを守り、あなたの母の教えを捨てるな」）をたどって行くと、どのような道にたどりつくでしょう？

スタート

ア	ナ	タ	ノ	ス	セ	ヨ
☆	タ	ノ	チ	キ	ニ	☆
☆	☆	☆	チ	☆	エ	ヲ
☆	マ	イ	ノ	☆	シ	ス
☆	シ	メ	ヲ	マ	オ	テ
☆	☆	ヲ	リ	モ	ノ	ル
ヨ	テ	ス	、	ハ	ハ	ナ



どろぼうになる



まいにち
毎日がいそがしく、
かみさま
神様をわすれるようになる



かみさま
神様を愛し、
うやまう人になる

3、次の質問を考えてみましょう。

①あなたはお父さん（またはお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生）に、しかられた（または注意された、教えてもらった）思い出がありますか？あれば書いてみましょう。

（ ）

②何をしかられたのか（注意された、教えてもらった）のか、わかりましたか？

（わかった→ [] ・わからない）

③しかられた（注意された、教えてもらった）ことがあとで良かった、と思えたことがあれば書いてみましょう。（ ）

だれかがしかってくれるのは、あなたがきらいだからでなく、愛しているからです。

その愛を知って、教えられたことをすなおに聞きましょう。それは命の道なのです。

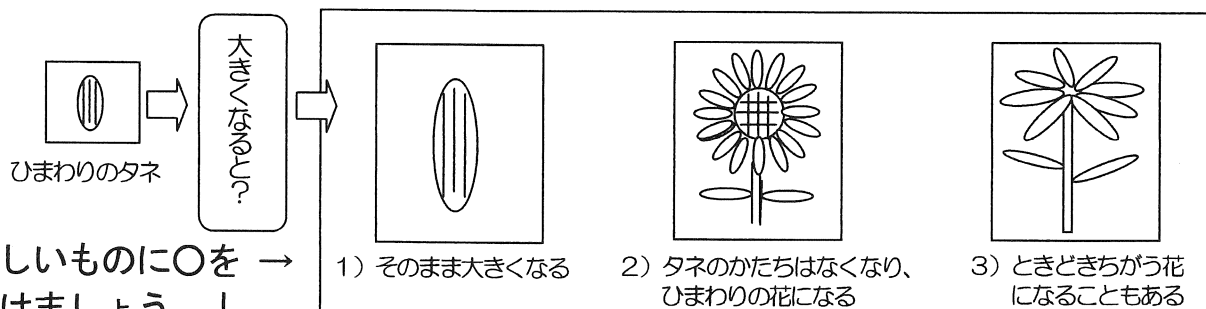
③ かみさま
神様、わたしに教えてくださることをすなおに
き こころ
聞く 心をあたえてください。イエス様の
なまえ
お名前によってお祈りします。アーメン。

★ かみさま
神様が、わたしに教えてくだ
さる人を与えてくださってい
ることを感謝しましょう。

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

I コリント 15・44

2、復活の時、どんなふう「霊のからだ」になるのでしょうか？「種」を見ましょう。



正しいものに○をつけましょう。↓

☆ 復活の時、今のわたしのからだは、（なくなり・そのまま残り）、
まったく新しい（ほかの人の・わたしの）からだに変わるのですね！

3、I コリント 15・43、44、49、53 を読んで「今のからだ」と「復活のからだ」のちがいを書きましょう。

	今のからだ	復活のからだ
①	朽ちる	()
②	いやしいからだ	() のからだ
③	() …死んだら腐る	強い…いのちそのもの！
④	肉のからだ	() のからだ
⑤	地に属する	() に属する
⑥	() もの	死なないもの

4、あなたが「今のわたしたちのからだ」で一番弱いと思うものに○をつけましょう。

（ケガをしたら痛い・血が出る・病気をする・年をとっていく・罪を犯す・死んだら冷たくなる・自分にきらいな 所 がある・自分がいつ死ぬかわからない・その他）

でも！復活の時には・・・？

死なない・涙 がない・悲しみがない・叫びもない・痛みもない！

完全な、神様と同じからだに変えられて、神様と永遠にいっしょに住むのです！

③ 神様、イエス様と同じからだに変わる復活の希望が

与えられていることを感謝します。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ 復活に期待して、今、イエス様を信じ、永遠の命をいただきましょう！

2009年度 牧羊者 第Ⅰ巻

ワークC解説 4~6月

(4/5~5/17 小泉、5/24~6/28 田代)

4/5

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「③」。あたりが暗くなったのは、神様の痛みのあらわれであることを伝えましょう。
- 第3問 「ほんとうに、この人は正しい人であった」(口語訳)。イエス様は罪を犯されず、どこまでも神様からお離れになりませんでした。
- 第4問 「③」。イエス様は一部の人たちの罪だけではなく、全世界の人々の罪を負われて十字架にかかってくださいました。
- 第5問 「③」。イエス様が自分の罪のために死んでくださったことを確認しましょう。

4/12

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「日」。十字架におかかりになったのが金曜日、3日目の日曜日にイエス様は復活なさいました。復活を記念して日曜礼拝があることを伝えましょう。
- 第3問 「マグダラのマリヤ、ヨハンナ、ヤコブの母マリヤ」。イエス様を愛していた女性たちが、最初の復活の証人となりました。
- 第4問 「③」。空っぽの墓はイエス様の復活を証明しています。盗まれたのではないことは、マタイ28章に記されています。
- 第5問 女の人たち…「信じた」。子どもの正直な思いを受け止めましょう。大切なことはイエス様が復活をあらかじめ語っておられたということです。イエス様のみ言葉はすべて実現すると信じることは、幸いなことです。

4/19

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「②」。二人の弟子たちは、女性たちが語る復活の証言を聞いても、信じられなかったのです。25節でイエス様は、「愚かで心のにぶいため、…信じられない者たちよ」と戒めておられます。
- 第3問 「心が内に燃えた」(口語訳)。み言葉を通して、神様が心の内に語りかけてくださる経験は、私たちにも必要です。
- 第4問 「パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった」(口語訳)。弟子たちは、五千人の給食の場面や、最後の晩餐^{ばんさん}の場面でのイエス様の姿を思い出したのでしょうか。
- 第5問 「③」。イエス様の復活を悟った弟子たちは、エルサレムの仲間たちのもとへと急ぎました。復活の喜びが弟子たちにあふれていました。子どもたちもこの喜びを自分のものとできますように。

4/26

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「③」。37節。復活なさったイエス様とお会いしても信じられない弟子たちは、恐れを感じるばかりでした。
- 第3問 「手」、「足」、「焼いた魚の一きれ」。イエス様は本当に復活なさった証拠を示してくださいました。復活とは霊的なことではなく、肉体をもってよみがえられることです。
- 第4問 「十字架の傷跡」。別人ではなく、確かに十字架の苦しみを味わってくださったお方が、よみがえって弟子たちの前に現れてくださったのです。
- 第5問 子どもたちの正直な思いを聞きましょう。イエス様のよみがえりは、信じる者にも与えられる事実であることを、子どもたちもしっかりと信じられますように。

5/3

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「②」。旧約聖書の中にあらかじめ預言されていたことが、イエス様の上に成就しました。ここに聖書の確かさがあります。
- 第3問 「×、×、○、×、○」。神様の前に厳かな姿勢をもって、み言葉に耳を傾けられるようになりたいものです。
- 第4問 「聖霊（御霊）」。「ヨハネ16・7」でもイエス様が約束してくださっているように、イエス様が天にあげられた後、聖霊が送られてきたのです。
- 第5問 「③」。ここでは聖霊によって、福音宣教の力が与えられることが語られています。聖霊を受けると、スーパーマンになれるとか、罪とは無関係になれるとかいうことではありません。

5/10

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「十（10）」。「第一戒から第四戒までは神への義務、第五戒以降は人への義務です。」
- 第3問 「5」。人への義務の最初に教えられているのが、父と母とを敬うことです。それだけ重要なことです。
- 第4問 敬うことが具体的にどういうことなのか、一緒に考えてみましょう。
- 第5問 本来は父母を通して、信仰を教えられるのが理想ですが、子どもたちの現実は必ずしもそうではないでしょう。両親のため、特に救いのために、子どもたちが祈ることは大切なことです。

5/17

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 「③」。よみがえられたイエス様は今も生きておられます。復活が霊的なことや一時的なことにとどまらないように確認しましょう。
- 第3問 「聖霊があなたがたにくだる」（口語訳8節）。ペンテコステのできごとです。
- 第4問 「②」。子どもたちもイエス様を信じて、証人となることが願われています。
- 第5問 「聖霊」。主の証人になるとは、自分の性格や得意、不得意で決まることではありません。聖霊が助けてくださって初めて、その働きはできます。子どもたちにも聖霊が臨んでくださり、その力が与えられますように。

5/24

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 解答 ①ゲリジム山→（オリーブという山）。②パリサイ人→（イエス様の兄弟たち）。③おしゃべり→（おいのり）。
- 第3問 祈りに心を合わせていく時、祈りの輪ができます。塗りつぶさなかった所に「輪」ができます。一致を妨げるものは自己中心。祈る中で主の御愛に触れ、自我が砕かれていくことを覚えましょう。絵の横の○○の中は「自己（じこ）」です。
- 第4問 聖霊を受けるため私たちのなすべき唯一の準備は、主の約束を信じて、「祈り」（悔い改めを含む）続けることを学びましょう。

5/31

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 答えは「ペンテコステ」です。ペンテコステの名前を覚えましょう。
- 第3問 聖霊が、「一同に」と同時に、「ひとりひとりに」注がれ、また他国の人々に福音が広がっていったことによって、主の体である教会がつくられていったことに着目しましょう。答えは、①ア）、オ）②ウ）、イ）③エ）④エ）、カ）です。
- 第4問 「聖霊のみたし」を正しく理解するようにしましょう。答えは、上から二つ目と一番下です。

6/7

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 テサロニケ人への手紙で再臨について語られる背景を考えましょう。答えは、一番下です。
- 第3問 今日の聖書箇所書かれていた、再臨の順序を確認しましょう。特に、先に死んだ人がどうなるのか、ということに着目しましょう。また、イエス様を信じる人は、主イエスにお会いする時、お互いにもまた再会できる希望があることを覚えましょう。答えは、①イ、②ア、③ウ、です。

6/14

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 花を造られた神様の御愛が私にも注がれていることを覚えましょう。中央の答えは①花びら、②葉、③根、です。右の答えは上から、神様、神様、です。
- 第3問 「思いわずらうな」とは、怠惰をすすめているわけではなく、より積極的に神様の御心を行うためであることに着目しましょう。答えは、一番下に○です。
- 第4問 花の名前は、チューリップ、ヒマワリ、タンポポ、スマイル、アネモネ、カスミソウ、です。残った文字は「カミノクニトカミノギ」です。
思い煩いを止め、神様の御愛を持ち運ぶ人にならせていただきます。

6/21

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問

ア	ナ	タ	ノ	ス	セ	ヨ
☆	タ	チ	キ	ニ	☆	
☆	☆	☆	チ	☆	エ	ヨ
☆	マ	イ	ノ	☆	シ	ス
☆	シ	メ	ヨ	マ	オ	テ
☆	☆	ヲ	リ	モ	ノ	ル
ヨ	テ	ス	ハ	ハ	ナ	

ちなみに、「アナタノチチノイマシメヲステヨ」だと、どろぼうに、「アナタノスキニセヨ」だと、世の中の方に行きます。

- 第3問 自分を戒めてくださることが、愛からであることを覚え、感謝しましょう。お父さんのおられない家庭の状況も考え、お母さんetcを加えました。

6/28

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 「どのように復活？」という問いを考えましょう。復活のからだは、今のからだのかたちではない、新しいからだであること、また、復活しても同じ、「私」であること、を確認しましょう。
文章の（ ）の答は（なくなり）、（わたしの）です。
- 第3問 「どんなからだ？」への問いを考えましょう。聖書に従って、今のからだと復活のからだとの違いに着目して、表を埋めましょう。
答は①朽ちない、②栄光の、③弱い、④霊、⑤天、⑥死ぬ、です。
- 第4問 今の私たちには弱さがあり悲しく思うことが多々ありますが、復活の時にはイエス様と同じ完全な、からだに変えられる希望があることを感謝しましょう。